

## 自己改革取組宣言に関する特別決議

J Aグループ熊本では、第26回J A熊本県大会において引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標として掲げ、その実現に向けた自己改革の取り組みを全力で推し進めていくよう決議された。

このため、J Aれいほくとしても、協同組合の原点に立ち、「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織としてあり続ける。

J Aは、農業者（正組合員）と農業者とともに地域農業を支える者（准組合員）が組織する協同組合であり、組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を展開し、農業者の所得向上や地域農業の振興を目的として、農畜産物の販売や、信用事業、共済事業などの様々な事業を、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組むこととする。

食の安全・安心と環境に配慮した農業生産の徹底を図り、消費拡大等のイベントを通じて「食と農」の大切さを伝え農業への理解を得るよう取り組むこととする。

J A間共同出荷による流通経費の削減と熊本産農産物ブランドの構築、また、生産資材、肥料等の共同仕入れにより、生産コストの低減に向けて取り組むこととする。

一層の集約化や効率化による組織整備と併せて、意識改革・行動改革の重要性を再認識し、J Aの基礎である「出向く体制」を確立し、組合員・地域の皆様のお声を聴く態勢を目指して親しみあるJ Aづくりに取り組むこととする。

以上、決議する。

令和元年6月23日

苓北町農業協同組合  
第54年度 通常総会